



# 東洋医学公益講座

## 第15回

- ✓ 講師：羅 予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：(株)ベンチャーバンク

# 先人の智慧、後世の階段

## 経絡の分類 II

# 経別とは

経脈 = 正経 + 経別 + 経筋 + 皮部

正経 = 本家本元の線路

経別 = 正経から分岐したバイパス

五臓六腑の機能の横のつながりを  
強化する為のシステム

# 例えば...京王線の場合



新宿～八王子までの途中、  
調布より橋本行に分岐

1本だけでカバーできる範囲が限  
られているため、別のエリアを  
カバーするために必要な線路

# 経筋とは

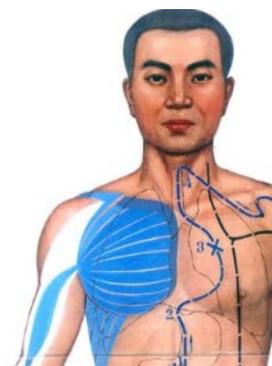
筋肉(経筋) = 経脈のシステムの一部

- ✓ 各筋肉はどこの経脈に属するか決まっている
- ✓ 複数の経脈に跨っている場合もある

例：胸の前面の筋肉には  
複数の経脈が通っている



膀胱経の経筋の一部



肺経の経筋の一部

# 皮部とは

皮部 = 経脈が体表を通る部分

- 筋肉と皮膚の隙間
- 皮膚と皮膚の隙間



足太陰脾経の皮部（白色の部分）

# 経脈の分布を知ると

痛みの部位・症状によって、どの経脈が関係しているのかわかるようになる

痛みの原因も違えば、  
治療の方法も変わってくる

# 例えば：五十肩

## ✓ 肩の前が痛い場合

まず、肺・大腸の経絡をチェック

## ✓ 肩の横が痛い場合

まず、大腸・三焦の経絡をチェック

## ✓ 肩の後ろが痛い場合

まず、小腸や大腸の経絡をチェック

# 経脈 まとめ

- ✓ 十二正経 = 本線
- ✓ 奇経八脈 = 十二正経の機能を  
監督・調節・補佐する
- ✓ 経別 = 正経から分岐し、各臓腑の  
機能の連携を強化するための支線
- ✓ 経筋 = 経脈の隙間の空間を囲む  
周りの筋肉
- ✓ 皮部 = 経脈が皮膚の表面を通る  
部分

# 絡脈 まとめ

## ● 大絡

十二正経の表裏の関係を強化するパイプライン

## ● 孫絡

絡脈の小さい分岐

## ● 浮絡（ふらく）

皮膚の下にある浅い隙間



# 浮絡・孫絡

下肢の細い血管が浮かび上がっているように見える部分

⇒ 皮膚の隙間に古い血液が溜まっている状態

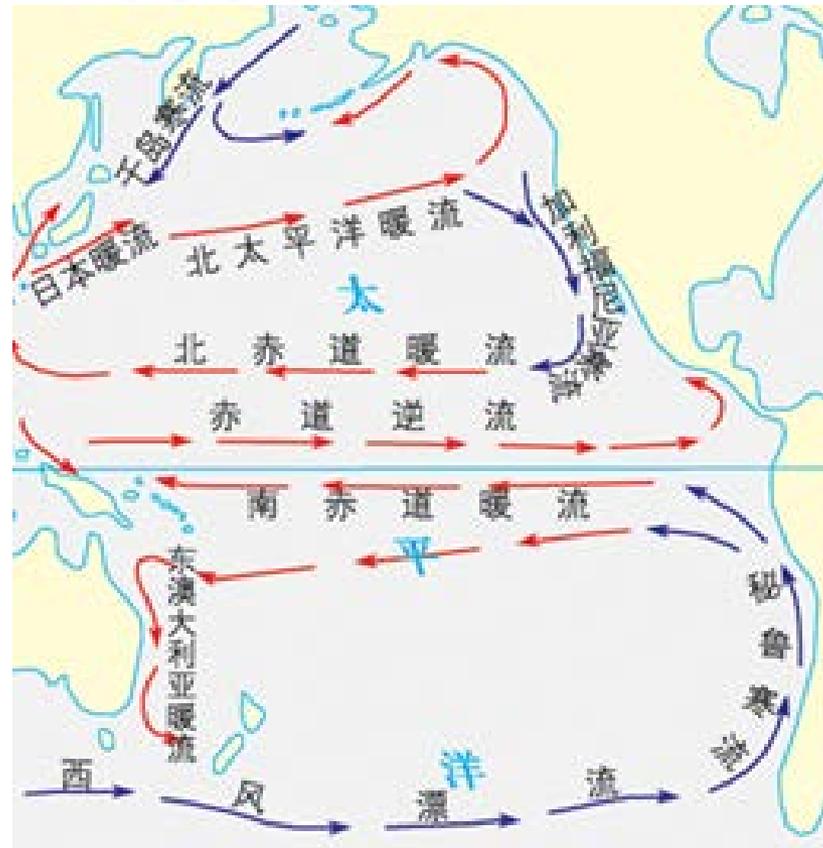




# 気の流れの方向性

# 海流の方向性

気の流れに一定の方向性がある  
例：海流の方向性

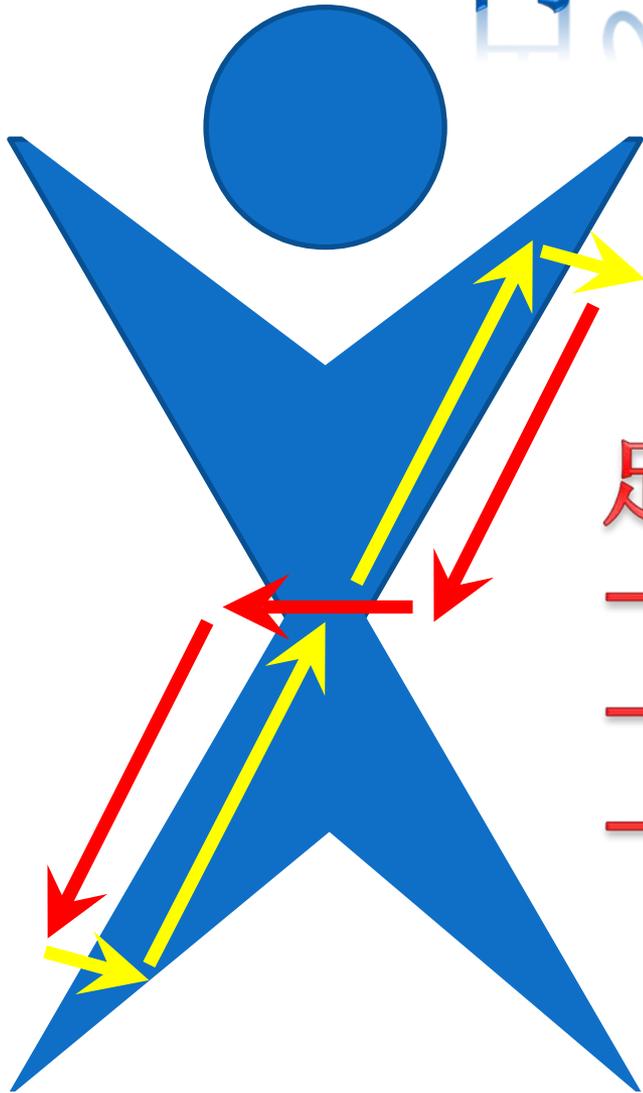


# 螺旋状に流れる気

地球上の気は八の字・らせん状に流れている



# 円の中を流れる気



## 立って両手を上げた状態

足の内側の下→上→手の先  
→内側から外側へ→手→頭  
→つま先→足の内側に戻る  
→循環する

# 揉み返しの一つの原因

気の流れに逆らって施術すると

例：足の外側を下から上へマッサージ

気の流れの方向性を意識せずに  
気の流れに逆らうと、気が詰まり、滞  
りやすくなってしまう

# 効果的なマッサージ

無闇にマッサージするのではなく、  
気の流れに沿って行うこと！